

ふれ愛だより

第28号

2005年12月

独立行政法人 水資源機構
小石原川ダム調査所
発行人 山本 力

ふれ愛メッセージ

ISO14001認証 取得に向けて

小石原川ダム調査所は、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築や地球環境保全に資することが当機構の社会的責務であるとの認識に立ち、環境保全に関する取組を行っています。この取組



環境学習会

をより一層充実させるため、環境マネジメントシステム (ISO 14001) の認証取得に向け、昨年度取得した筑後川局・筑後大堰管理所に続き、当事務所を始め筑後川局管内の4事務所が認証取得の活動を10月から実施しています。

認証取得に当たり、筑後川局長が環境方針を定め、基本理念及び基本方針を策定しています。

小石原川ダム調査所は、基本理念及び基本方針に基づき水源地域における環境保全活動の推進を環境目的とし、環境影響評価書に基づき実施する「環境影響保全策及び環境への配慮」を行う上で必要となる調査・研究を環境目標として定め認証取得に向け検証活動に取り組んでいます。

また、取り組みについては、定期的な見直しを行い、継続的な改善を図っていきます。



植物の移植状況

小石原川ダム調査所長 山本 力

〔基本理念〕

近年、地球温暖化、生物多様性の減少、有害物質や廃棄物に起因する汚染など、地球規模から身近なものまで様々な環境問題が顕在化しています。人類が将来にわたり自然から得られる恵沢を享受し、生存し続けるためには、環境問題に対し行政、事業者、個人がそれぞれの役割を踏まえ環境保全に資する取組を行っていく必要があります。

私たち水資源機構は、安全で良質な水を安定してお届けするとともに、流域の水環境の保全や地域の活性化にも積極的に貢献することを企業理念としており、筑後川水系においてもダムや水路などの施設の管理や建設を通じて、生活や産業の基盤である水を安定的に供給するとともに、洪水などの被害から人々の生命や財産を守る事業を実施しています。

こうした事業の実施に当たっては、地域の環境へ負荷を与えることが考えられるほか、資材、用品等の資源やエネルギーの消費を伴います。このため、環境負荷の低減、良好な環境の保全と創出に努めてまいります。

〔基本方針〕

1. 環境保全に配慮した取り組みを総合的に推進します。
2. 職員一人ひとりが積極的に環境保全に取り組めます。
3. 環境関連の法令等を順守します。
4. 環境情報を積極的に発信します。

【小石原川ダムの説明】



【環境学習会】 ～水の文化村にて～



毎年8月1日は「水の日」であり、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、講演会やイベントなどさまざまな行事が全国的に実施されます。

「あまぎ3ダム見学会」は昨年から実施しており、今年も両筑平野用水管理所（江川ダム）と寺内ダム管理所との合同で8月7日(日)に開催しました。

今年も昨年以上に、多くの方（子供から大人まで幅広い年代）が参加され、江川ダム、寺内ダムの施設見学会や小石原川ダムのダムサイトにおいて概要説明を行いました。

また、甘木水の文化村では環境学習会を開催し、自然環境の話しを模型を使用して分かり易く説明しました。これからも、ダムの役割や必要性を知っていただくために、このようなイベントを設けて行きたいと考えています。

【江川ダム施設見学会】



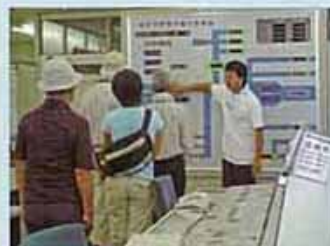
ダム堤体を歩いて見学

【寺内ダム施設見学会】



ダム見学

ワア〜ツ!!
すごい!!!



ダム操作室見学



クイズに挑戦!



監査室内見学



最近の動き



- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|----------------------|
| 8月 2日 | 佐賀東部水道企業団への事業説明 | 10月19日 | ISO14001講習会 |
| 8月 7日 | 水の週間行事「あまぎ3ダム見学会」開催 | 10月23日 | 小石原川・佐田川ノーボーイ運動へ参加 |
| 8月17日 | 甘木市官公庁連絡協議会出席 | 10月25日 | ISO14001講習会 |
| 8月29日 | 環有明・川のクリーンアップ作戦へ参加 | 10月27日 | 佐田川取水対策委員会先進地視察 |
| 9月 1日 | 防災訓練 | 10月27日 | 第2回 筑後川水系流域委員会 |
| 9月14日 | ISO14001講習会 | 10月29日 | 環境学習会開催（秋月小学校4年生） |
| 9月16日 | 筑後川局管内技術研究発表会 | 10月31日 | 平成17年度第2回東峰村ダム対策委員会 |
| 9月21日 | 甘木市官公庁連絡協議会出席 | 11月 1日 | 水の懇話会 |
| 10月13日 | 小石原川ダム行政等担当者連絡会議 | 11月 6日 | 「水をつなぐ流域交流in下戸河内」へ参加 |
| 10月13日 | 平成17年度県南企業団運営協議会幹事会研修 | 11月14日 | 水質勉強会（筑後川局） |
| 10月19日 | 甘木市官公庁連絡協議会出席 | 11月16日 | 甘木市官公庁連絡協議会出席 |

ふれ愛 トピックス

生活再建相談所の開設について



平成17年7月2日、甘木市江川地区にある江川東部公民館の一室に、「生活再建相談所」を開設いたしました。

「生活再建相談所」では、小石原川ダムの建設により家屋等が水没し、別の場所へ移転して頂くことになる地域住民の方々から、代替移転地の問題や、土地や建物・立竹木などの財産の補償の問題、税金に関する問題、職業継続問題、児童の転校等諸手続きの問題など今後の新しい生活設計の相談を受け、適切なアドバイスを行っています。



ダム建設に伴う生活再建の専門家を相談員

として1名配置し、基本的に毎週水曜、土曜日に相談業務を実施しております。

相談業務開催日には、水没地区関係者の方々が、移転後の生活について不安に思っていることやわからないことを、相談員と熱心に相談されておられます。

この生活再建相談所が、水没地区関係者の方々にとって、将来の生活設計のお役に立つことを期待しております。



ふれ愛 プロジェクト

移植試験実施中

事業による影響が大きいと考えられる貴重な植物について、9月及び10月に移植試験を実施しました。移植試験は生態のよく分からない種を将来移植するため、さまざまな方法を用いた試験を繰返し、適切な移植手法を確立することが目的です。

具体的には、自生している個体から採取した種子を播種したり、株の移植を行うなどして、それぞれの種に最も良い方法と思われる手法を用いて試験的に移植を行います。移植後は移植個体の生育状況を観察していくことで、移植試験の成功の判断をします。

なお、移植試験の実施にあたっては、専門家の指導・助言を得ながら行っています。

今年は、移植試験の2年目となり、昨年の試験結果を踏まえた挑戦が再び始まります。



移植候補地選択



播種



株の移植

ふれ愛 インフォメーション

【 職員の異動 】



西中間 池 浦

平成17年10月1日付けで下記の2名が転入しました。

前任地

調査役 池 浦 光 文 (国土交通省より出向)
調査設計課 西中間 茂 徳 (川上ダム)

平成17年10月1日付けで下記の2名が転出しました。

転出先

調査役 村 上 博 (国土交通省へ復帰)
調査設計課 齊 藤 啓 吾 (下久保ダム)

ふれ愛 インフォメーション

第20回筑後川ノーポイ運動に参加

今年も小石原川・佐田川ノーポイ運動が10月23日(日)に実施されました。この清掃活動は毎年、筑後川・矢部川沿江市町が中心となって開催されている「筑後川・矢部川ノーポイ運動」の一環として行なわれているものです。

当日はセレモニーの後、周辺住民の方や関係市町村などの職員とともに佐田川金丸橋を拠点として、清掃活動を実施しました。

当事務所の職員もこの清掃活動にボランティアとして参加し、清掃活動に取り組みました。ゴミは昨年よりは多少減ったもののまだまだ生活ゴミが多く見られました。

一層の河川美化啓発活動の重要性を感じたところであります。



編集後記

水資源開発公団から独立行政法人水資源機構へ移行して、10月で2年を迎えました。「安全で良質な水を安定して安くお届けする」という経営理念のもと、皆様に親しまれ信頼され、さらにご支援ご協力をいただける組織に生まれ変わるべく、職員が一丸となって取り組んでいます。

「ふれ愛だより」では、皆様からのご感想やご意見・ご質問など心よりお待ちしております。

アクセス



公共交通機関
電車：西鉄甘木線
甘木駅より徒歩1分
甘木鉄道
甘木駅より徒歩2分

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構 小石原川ダム調査所

〒838-0068 福岡県甘木市大字甘木1187

☎0946 (22) 7000 0946 (22) 7055

<http://www.water.go.jp/chikugo/koishi>

